

国語科（論理国語） 普通科2年3組 学習指導案

令和6年1月7日（木）第7校時 合併教室 指導者 宮本 晃

- 1 単元名 資料を集めて情報を分析する。構成を考えてレポートを書く。
- 2 単元の目標
 - (1) 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解することができる。 国語〔知識及び技能〕(1) エ
情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解できる。 情報〔知識及び技能〕(1) ウ
 - (2) 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫することができる。 国語〔思考力、判断力、表現力等〕A書くこと(1) ウ
目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。 情報〔思考力、判断力、表現力等〕(1) ア
 - (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
「学びに向かう力・人間性」

3 本時案（第一次 第3時）

- (1) 本時の目標
 - 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解できる。 情報〔知識及び技能〕(1) ウ
 - 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
「学びに向かう力・人間性」
- (2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1 本時の目標を確認する。(5分)	・本時の目標を確認する。	
目標 新2年生のために課題探究の説明書を作ろう。 I 情報分析活用力 II 論理的思考力		
2 クラスルーム内で前時に選ばれた説明書を確認し、順位付けする。(10分)	・ワークシートを配布し、各作品の良い点・改善点を記入させ、順位付けの根拠を明確にさせる。 ○Cと判断される生徒への手立て ・1つの作品を基準とし、それと各作品を比較し、良い or 悪いを設定させ、順位付けのきっかけがつかめるように支援する。	〔主体的に学習に取り組む態度〕① 行動の確認観察
3 グーグルフォームを使い、投票する。(5分)	・1位の作品に投票させる。また、その際の根拠を明確にさせる。	
4 1位の作品とAIの作品とを比較し、情報化社会における重要なことを考える。(15分)	・1位の作品の良い点、AIの作品の良い点・改善点を確認、共有する。 ・それぞれの比較を通して、情報を扱う上での人の良さ・AIの良さをそれぞれ確認する。	
まとめ 無数にある情報の中から、相手に合わせた情報の選択が重要。		
5 本時の学びを活かし、自身の説明書を再作成する。(10分)	・まとめをふまえ、自身の説明書を再作成させる。 ○Cと判断される生徒への手立て ・まずは、自身の説明書のわかりにくさを改善させるように指導する。	〔知識・技能〕② 〔主体的に学習に取り組む態度〕① 作品の確認 行動の確認観察

- ◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する生徒の姿の例
 - ・相手意識を身につけ、新2年生にとってわかりやすい内容や構成の説明書を工夫して作成している。
- ◎「満足できる」状況（A）と判断する生徒の姿の例
 - ・相手意識を身につけ、新2年生の様々な実情を想定して、新2年生にとってわかりやすい内容や構成の説明書を工夫して作成している。

(3) 準備物

- ・教科書・ワークシート・参考資料・クロムブック